第１回日本大学再生会議　議事録（議事要旨）

１　日　時：令和４年１月１８日（火）１３：００～１５：０５

２　場　所：日本大学会館

３　議　事：①　学校法人日本大学の現状について
②　会議の運営について
③　その他

４　出席者：石原委員，井出委員，裏出委員，大日向委員，河田委員，小宮委員，
鈴木委員，永井委員，濵口委員，矢田委員
欠席者：深代委員

５　議事要旨

①加藤理事長・学長から挨拶があった後，本会議委員をお受けいただいたお礼を述べた上で，本学の管理運営体制等の抜本的改革を行うため，忌憚のない議論をいただきたい旨のお願いがなされた。

②加藤理事長・学長から，本会議設置の経緯及び役割，日本大学の概要についての説明がなされた。また，学校法人の管理運営に関する適切な対応及び報告に関する文部科学省からの指導文書（令和３年１２月１７日付）及びこれに対する学校法人日本大学からの回答文書（令和４年１月１１日付）についての説明がなされた。

③加藤理事長・学長から，議長は矢田次男委員にお願いしたい旨の提案があり，了承された。（加藤理事長・学長はここで退席し，会議の進行を議長に依頼）

④委員の自己紹介を行った。

⑤矢田議長から会議の運営について説明した後に，委員に意見を求め，以下のとおり意見交換が行われた。

〇委員から，日本大学再生会議（以下，再生会議という）と日本大学が新たに設置予定の外部有識者のみで構成される第三者委員会（以下，第三者委員会という）の役割の違い及び再生会議と現在国で検討されている学校法人ガバナンス改革会議との関係性をどのように考えるのかについての発言があった。

○委員から，再生会議の意見と学校法人ガバナンス改革会議の方針が一致しないことが考えられるが，学校法人ガバナンス改革会議を考慮した上で議論していくべきかとの発言に対して，委員から現行法の下で考えていくしかないとの発言があった。

○委員から，過去の理事長，理事，校友会長，評議員の氏名・在任期間及び校友会長の選出方法を資料として提示して欲しいとの発言があった。

○委員から，理事長及びその意向を汲んで対応にあたっていた者によって事実上理事が選任されるということが起きており，特に総長制廃止後にその問題がエスカレーションしてきたと考えられるため，その実態を明らかにし，何が問題であったのかを明確にすべきとの発言があった。

○委員から，学則を確認することの必要性に関する発言があった。また，Written Rule と不文法の乖離を見極めることも重要であるとの発言があった。

○委員から，今回の日本大学における事件について詳しく情報をもらい，その上で，変更すべき点を議論することが現実的であると考える。そのために，日本大学が教職員等から集めた意見を資料として提示して欲しいとの発言があった。

○委員から，寄附行為や規程に書かれている内容に対して，実際，役員の選任はどのように行われていたのかを知りたいとの発言があった。

○委員から，学部長選挙及び校友理事の選出方法の問題点について発言があった。また，選出ルールは一見民主的であるが，必ず理事長派閥で固められるようルール変更がなされているのではとの発言があった。

○委員から，学部長選挙の選挙権に関する質問があり，事務局が現行規程について回答した。

○委員から，職員の人事がどのように決定されているのかがわかる資料及び学部長選挙に関する規程を資料として提示して欲しいとの発言があった。

○委員から，寄附行為や規程がどの時期にどういった理由で改定されたのかがわかる資料を提示して欲しいとの発言があった。

○委員から，学部長選挙は参考投票であるため，投票結果をもって最終決定とはならない制度になっており，理事長派閥が学部長を選べるシステムになっているの

ではないかとの発言があった。

○委員から，常務理事会が理事会の議事を事前に承認しており，理事会ではあまり議論が行われず，形骸化していたのではないかとの発言があった。

○委員から，総長及び学長の呼称について質問があり，事務局が回答した。

○委員から，理事や評議員等のダイバーシティ（他大出身者比率，女性比率等）が確認できる資料を提示して欲しいとの発言があった。

○委員から，日本大学の卒業生以外の者がどの程度評議員等に含まれているかとの質問があり，事務局が評議員会の学識経験評議員の現状について回答した。

○委員から，規程改正の変遷に関する資料を作成する際に，法令変更に伴う改正なのか，あるいは日本大学が独自で行った改正なのかがわかるように準備して欲しいとの発言があった。

○委員から，現状の内部通報制度に関する資料を提示して欲しいとの発言があった。

○委員から，第三者委員会と再生会議の検討内容の分担や担当の範囲について，どのように考えていくべきかについて発言があった。

⑥第２回以降の会議日時の調整を行った。

以　　上